

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和6年4月1日

事業所名 ACE(江洲校)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・軽い運動遊びができる広さがあり、職員が利用者の目の届く作りができていると思う	
	2	職員の配置数は適切である	9	0	・適切であり、現在の配置を維持でいると良い	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	1	・大きな段差もなく情報伝達の部分では絵や写真で分かりやすく示されている	・児童一人ひとりに合った環境づくり及び、安全の確保を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	・毎日の清掃など、活動場所の設定など環境を整えることが出来ている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	・日々のミーティングなど職員間で共通理解する場を設けている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	・アンケートや日々の申し送り、連絡帳などで情報を共有し、業務改善につなげている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		・第三者の意見により、改善点など見えるものもあり、今後継続して外部の受け入れを行っていく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	・利用児に合わせた施設内研修が行われている	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	・事前にアセスメントを行い職員間(多数の視点)で分析し、支援計画書作成を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2		・日々の活動などからそれぞれの行動を分析したりコミュニケーションから児童の状況をつかんでいく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	・それぞれに合った達成できる支援内容を具体定期に設定している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	・個人記録に支援内容を掲載し、日々それぞれの計画を把握できるようにしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	・日々のミーティングで職員全体で相談しながらスケジュールなど組み立てをしている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・日々の利用児の成長段階や様子に合わせながら活動を組み立てている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9	0	・利用児の状況に沿った、プログラムを設定している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	・朝のミーティングで支援内容、職員配置を確認出来ている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	・送迎終了後、ミーティングを行い、共有するとともに業務日誌として残すことと、当日支援に入っていない職員も後日確認できるようにしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	・利用児の日々の記録。前の記録も目に入るので成長した点、改善点が把握できる	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	・相談員や児童それぞれの関係機関も交えながらモニタリングを行っている	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	・児童それぞれの状況を把握した職員が参加出来ている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	4	・情報の共有や気になる点などある場合事業所から連携を図っている	・引き続き関係機関と連携を図りながら、児童及び保護者の支援を地域と一緒にしていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				※対象児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				※対象児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0		・少し保護者任せになっているところがある。互いに共有しながら今までの過程を通して、支援方法など話し合いを設ける(こちらから設定)などし最後まで丁寧にサポートしていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0		・同上
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4	・他事業所などを見学しながら、助言を受けながら支援の向上につなげている	・研修等の情報を収集しながら、関わりが持てるよう努めていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	5		・地域の施設を利用する機会はあるが、交流する機会がまだない。積極的に連携を図り定期的に交流する機会を設けていく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	6	・月に一度地域の支援協議会へ参加している	・支援協議会での情報等、職員へも周知していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・送迎時の申し送りや、連絡帳を使用して共通理解を図っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)の支援を行っている	5	4	・モニタリングや申し送りなどで、相談または助言を行いながら情報を共有している	・児発育だけではなく、日々送迎を担当する指導員等もペアレの知識をつけるよう研修を行っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	・契約または面談の際に資料や文書を用いながら説明を行っている	
児童発達支援計画の作成・実施	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	・計画書作成後、保護者へ確認後、同意を受けて計画書の決定にあたっている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	・保護者からの相談を受けながら、事業所全体で共有しながら支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・職員同士の情報共有を早めに行うことで迅速な対応に繋げている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	1	・活動場所とは違う部屋に書庫を設置し保管している	・職員にて情報共有する書類は、確認後すぐに書庫に入れ個人情報の保護に努めていく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	・言葉以外にも動作や表情、絵カードなどを用いながら、場面に応じて個別に対応するなど配慮をしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4		・地域の施設を使用して活動を行ったりして、地域住民とも関われるよう意識していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	9	0	・薬の依頼所を提出してもらったり、保護者へ聞き取りしながら事前に確認できるようにしている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		※対象児なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	6		・日々の支援の中から情報共有しながら、事例集として残し今後の支援に繋げていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	・定期的な研修と、事業所へカメラの設置をしている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	・アセスメントの際に保護者と確認しながら、計画書にも掲載している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。